学校番号	1015

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	課題研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇自らの生活とそれに関わる産業のあり方に関心をもち、実践および体験的な活動や調査、研究考察など、積極的に取り組みましょう。
・保育や子育て支援に関する課題を発見、調べ、発表することをとおして、知識や問題解決する力をつけましょう。友だちの考えを知り、多様な考えを学び、自分の考えをもちましょう。
・保育の充実をめざして学んだことを自分の生活の問題として捉え、子どもを取り巻く環境に対応でき、問題解決できる資質と能力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

保育の各分野に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして、専門的な知識と関連する技術を身につけるとともに、問題解決に主体的かつ協働的に取り組む学習態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達と保育、保育と子育て支援、子どもの文化などに関心を持ち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	子どもの発達と保育、保育と子育て支援、子どもの文化などについて関心をもち、課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達と保育、保育と子育て支援、子どもの文化などに関する、基礎的・基本的な技術を身につけている。	子どもの発達と保育、保育と子育て支援、子どもの文化などに関する基礎基本とさらに発展させていく知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 演習・研究計画とその記録表、レポート、発表、自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 演習・研究計画とその記録表、レポート、発表、自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述、 演習・研究の成果物とその記録、レポート、発表、自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 演習・研究計画とその記録表、レポート、発表等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	子どもの発達と保育 表現活動	○子どもの発達と保育について学ぶ ○子どもの発達と保育について調べ発表する ○子どもの表現活動と保育について学ぶ(1) ○子どもの表現活動演習、製作発表する（1）	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:子どもの発達と保育、子どもの表現活動について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 子どもの発達と保育、子どもの表現活動について考え、まとめたり、表現活動、発表したりしている。 c:子どもの発達課題を見出し、それに適した実践活動を考え、適切に判断し表現している。成果物も適切である。 d:子どもの発達に応じた課題、表現活動の重要性を理解し、必要な知識と実践力を身につけている。	授業観察、ワークシート、発表、自己評価、相互評価 演習・研究計画、記録レポート、成果物
2学期	表現活動 子育て支援	○子どもの表現活動と保育について学ぶ(2) ○子どもの表現活動演習、製作発表する（2） ○子育て支援について学ぶ	○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ 	○ ○ ○	a:子どもの表現活動、子育て支援について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 子どもの表現活動、子育て支援について考え、まとめたり表現活動、発表したりしている。 c: 子どもの発達課題を見出し、それに適した実践活動を考え、適切に判断し表現している。成果物も適切である。さまざまな情報を収集・整理し、ポイントをまとめる力を身につけている。 d: 子育て支援や子どもの発達に応じた課題、表現活動の重要性を理解し、必要な知識と実践力を身につけている。	授業観察、ワークシート、発表、自己評価、相互評価 演習・研究計画、記録レポート、成果物

3学期	子育て支援	○子育て支援について調べ発表する	○	○	○	○	a:子育て支援について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: 子育て支援について、課題を見出し、その解決をめざして考え、適切に判断し、表現している。 c: さまざまな情報を収集・整理し、ポイントをまとめる力を身につけている。安心・安全な保育と子育て支援を実現するために、自分ができることを主体的・協働的に取り組むことができる。 d:子育て支援と保育の実情を理解している。	授業観察、ワークシート、発表、自己評価、相互評価演習・研究計画、記録レポート、成果物

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになりますが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけています。